

令和6事業年度

決算報告書

(令和6年4月1日～令和6年9月30日)



国立大学法人

東京医科歯科大学

令和6事業年度 決算報告書

(令和6年4月1日～令和6年9月30日)

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	6,985	11,278	4,292	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	430	346	△ 83	(注2)
補助金等収入	411	1,115	703	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	7	15	7	
自己収入	26,458	24,915	△ 1,542	
授業料、入学金及び検定料収入	878	812	△ 66	
附属病院収入	24,772	23,273	△ 1,499	(注4)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	806	830	23	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,041	5,520	479	(注6)
引当金取崩	-	470	470	(注7)
長期借入金収入	1,561	654	△ 907	(注8)
目的積立金取崩	664	1,414	750	(注9)
計	41,559	45,730	4,171	
支出				
業務費	33,484	33,311	△ 172	
教育研究経費	7,464	7,070	△ 393	(注10)
うち教育・研究基盤維持経費	-	-	-	
診療経費	26,020	26,241	220	(注11)
施設整備費	1,999	1,135	△ 863	(注12)
補助金等	266	373	106	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,041	2,894	△ 2,146	(注14)
長期借入金償還金	767	731	△ 36	
計	41,559	38,446	△ 3,112	
収入-支出	-	7,284	7,284	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階より多くの交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が4,292百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、計画変更等により、予算額に比して決算額が83百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、国等からの補助金の増加等により、予算額に比して決算額が703百万円多額となっております。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が12百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 附属病院収入については、入院稼働率が見込を下回ったことにより、予算額に比して決算額が1,499百万円少額となっております。
- (注5) 雑収入については、土地建物貸付料収入の増加などから、予算額に比して決算額が23百万円多額となっております。
- (注6) 受託研究費等の直接経費および寄附金については、受託研究等の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が479百万円多額となっております。
- (注7) 引当金取崩については、退職手当及び賞与の支払いに伴い引当金を取り崩したことから、予算額に比して決算額が470百万円多額となっております。
- (注8) 長期借入金収入については、工事内容・工程の見直し等に伴う東京科学大学への事業の承継等により、予算額に比して決算額が907百万円少額となっております。
- (注9) 目的積立金取崩については、当初想定していた目的積立金を財源としたプロジェクトの一部が計画変更となったことにより、予算額に比して決算額が750百万円多額となっております。
- (注10) 教育研究経費については、経費の節減等に努めたことなどから、予算額に比して決算額が393百万円少額となっております。
- (注11) 診療経費については、物価高騰による影響等により、予算額に比して決算額が220百万円多額となっております。
- (注12) 施設整備費については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が863百万円少額となっております。
- (注13) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が106百万円多額となっております。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、東京科学大学への事業の承継等により、予算額に比して決算額が2,146百万円少額となっております。